



現場を紡ぐ  
若手ネットワークの挑戦

- 若手NWのご紹介
- 2024年度活動報告（実地調査）
- 本企画趣旨説明

# 若手NWのご紹介

# 一般社団法人研究基盤協議会について



## 事業内容：

- ・会員相互の交流及び連携の促進
- ・研究設備・機器共用化を促進するための情報発信
- ・技術職員を対象とした研修
- ・研究設備・機器共有に関するコンサルティング
- ・受託調査及び研究
- ・研究環境整備に関する政策提言
- ・その他、この法人の目的を達成するために必要な事業



役職	氏名	所属	担当
代表理事・会長	江端 新吾	東京工業大学	「共創の場」委員会
理事・副会長	植草 茂樹	東京工業大学	広報委員会
理事・副会長	岡 征子	北海道大学	企画委員会
理事・副会長	長谷川 浩	金沢大学	政策提言検討委員会
理事・事務局長	榎 飛雄真	千葉大学	事務局
理事・特別会長補佐	林 史夫	群馬大学	総務委員会
理事	荒砂 茜	東海大学	
理事	境 健太郎	宮崎大学	財務委員会
理事	佐々木 隆太	北海道大学	学術委員会
理事	渡邊 政典	山口大学	人材育成委員会
監事	佐柳 融	東京農業大学	

# 研究基盤協議会 共創の場

## 若手ネットワーク

研究環境に関わる様々なステークホルダーと繋がり、議論を通して相互理解・高め合えるONE TEAMの構築を目指す



- 構成員** 研究、その支援に関わる若手人材（事務・技術職員・URA等）
- 活動** 研究現場を担う人材の視点から立場や組織を超えたONE TEAMを構成する中核ハブとなり、既成概念にとらわれない活発な議論をまとめて政策提言へと繋げることで、持続可能かつイノベティブな研究基盤に寄与する

- これまでの主な活動実績**
- 大学現場視察
  - 研究基盤EXPO
  - 研究基盤を取り巻く政策への意見出し
  - 若手アカデミー、RA協議会等との意見交換
  - 研究基盤に関連する情報収集、過去資料まとめ
  - メンバー、活動の拡大

## 技術職員コンソーシアム「TAMARIBA」

研究・教育 × 技術職員

技術職員の価値を最大限に引き上げるためのコミュニティ



**提案**  
研究基盤協議会  
理事会・政策提言委員会

**連携 協働**  
コアファシリティー採択校  
総合技術研究会  
実験・実習研究会  
機器分析技術研究会 他



- これまでの主な活動実績**
- 技術職員組織研究会とのコラボイベント
  - 研究基盤EXPO

# 研究基盤協議会若手ネットワークとは

研究基盤協議会プレイベント（令和3年1月29日）にて開催された、「若手技術職員×1年生ゼロ局員での政策対話@研究基盤EXPO2021」にて、大学技術職員組織研究会、近畿地区女性技術職員ネットワーク、文部科学省若手職員にて意見交換を実施。

登壇者17名をコアメンバーとして、研究基盤協議会内に「若手ネットワーク」として立ち上げ（2021～2022）

一般社団法人研究基盤協議会「共創の場」委員会「若手ネットワーク」として活動を継続（2023～）

## 若手ネットワークの目的

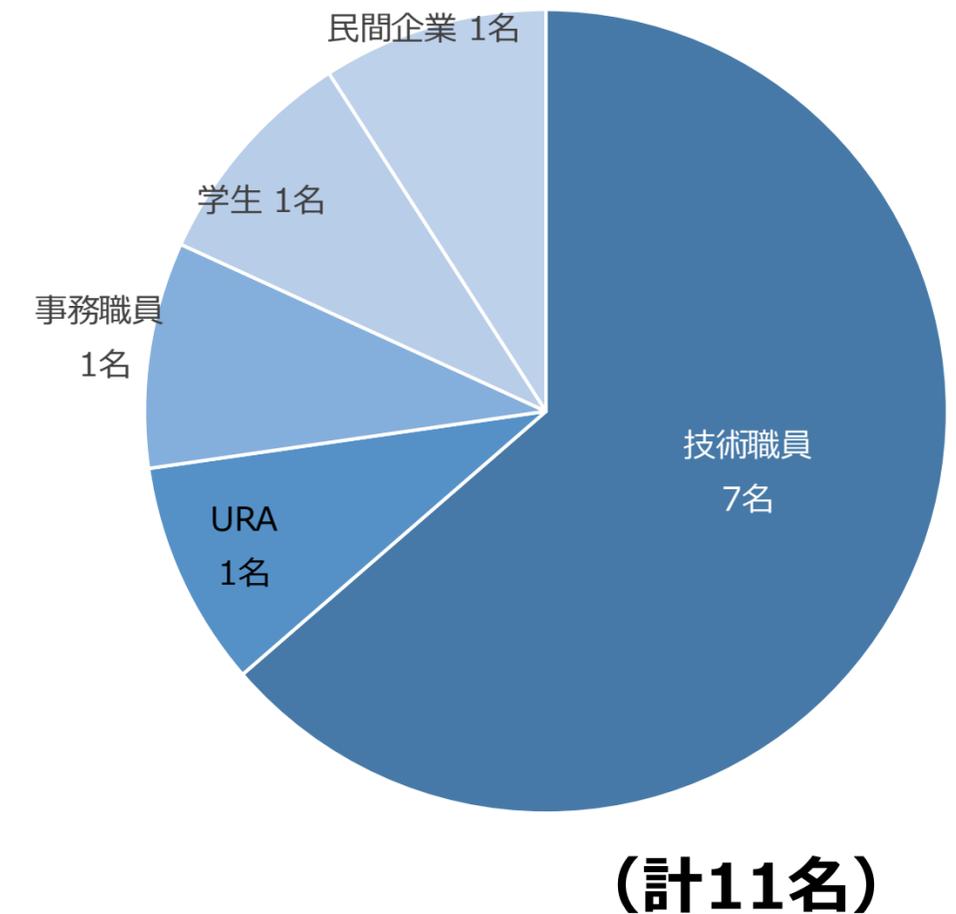
- ・研究基盤に関わる若手人材間の情報共有
- ・現場の最前線で活躍する若手の声を政策現場に届ける



# メンバー

- 稲角 直也 (大阪大学 理学研究科)
- 植原 邦佳 (大阪大学 接合科学研究所)
- 江口 奈緒 (大阪大学 コアファシリティ機構)
- 川谷 健一 (富山大学 研究推進機構)
- 木戸 拓実 (旭化成株式会社)
- 黒江 彩夏 (熊本大学 研究・社会連携部 研究推進課)
- 服部 崇哉 (名古屋工業大学 技術部技術課)
- 細見 奈生 (筑波大学 医学群 医療科学類)
- 廣瀬 孝三郎 (琉球大学 総合技術部)
- 松本 香 (神戸大学 大学院工学研究科技術室)
- 横野 瑞希 (鳥取大学 技術部)

令和6年1月時点



# 活動内容

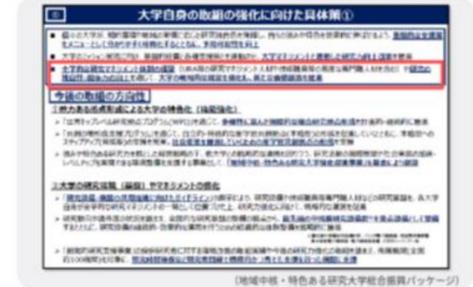
## 若手ネットワークのこれまでの主な活動

- 若手URA・事務職員との交流（RA協議会第9回年次大会セッション企画）  
URA×技術職員×事務職員
- 研究者との意見交換会（日本学術会議若手アカデミー）  
技術職員×教員
- 若手による研究基盤の实地調査（熊本大学、広島大学、東北大学）  
多様なバックグラウンドを持つ技術職員、URA、事務職員と交流
- 研究基盤EXPOの企画
- 共用ガイドラインへの意見だし

研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン（R4.3）にある「チーム共用」で目指す研究設備・機器の共用推進だけでなく、**「ONE TEAM」（部局や立場を超えた真のチーム型研究体制）による研究力強化の重要性を強く認識**

### セッションの背景

国の政策において「全学的な研究マネジメント体制の構築」に注目



### 他機関との連携に必要な物（TUNE）



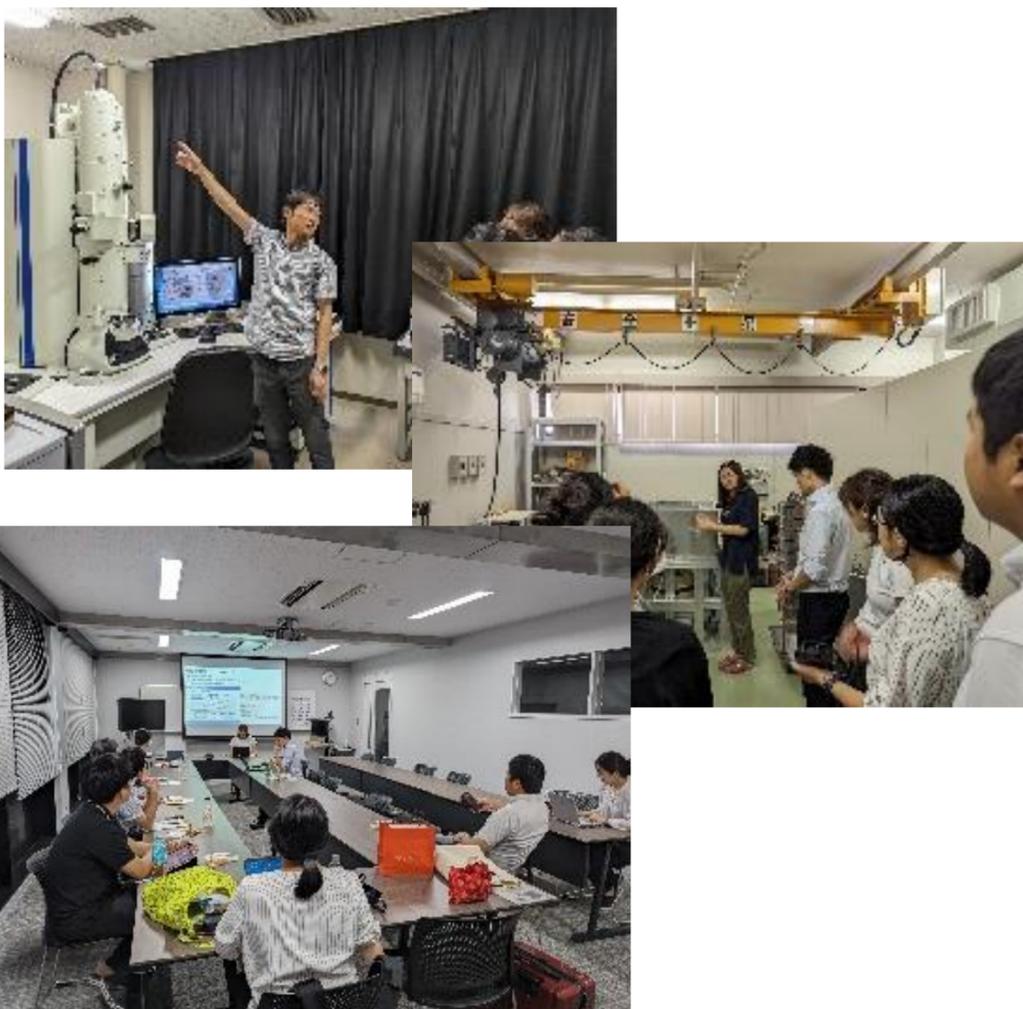
# 2024年度活動報告（実地調査）

# 実地調査

目的：

若手ネットワークのメンバーと機関の研究基盤に関わる人材が現場視察を通じて連携し、現場レベルでの実情や課題から政策に繋がるきっかけ作りを行う。また、人的な交流を通して将来の組織運営・連携に繋がる**機関を超えたネットワークを形成**する。

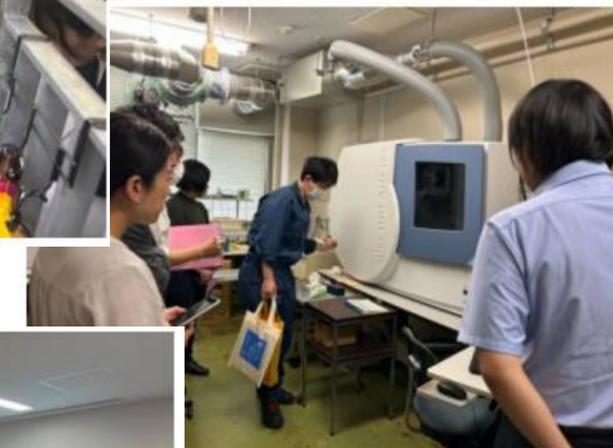
熊本大学



広島大学



東北大学



# 本企画趣旨説明

現場の声を拾い上げ、それを有効活用するにはどうすればよいか。。

現場の方々自ら声をあげていただき、若手NWの活動計画に組み込めばいいのではないか！

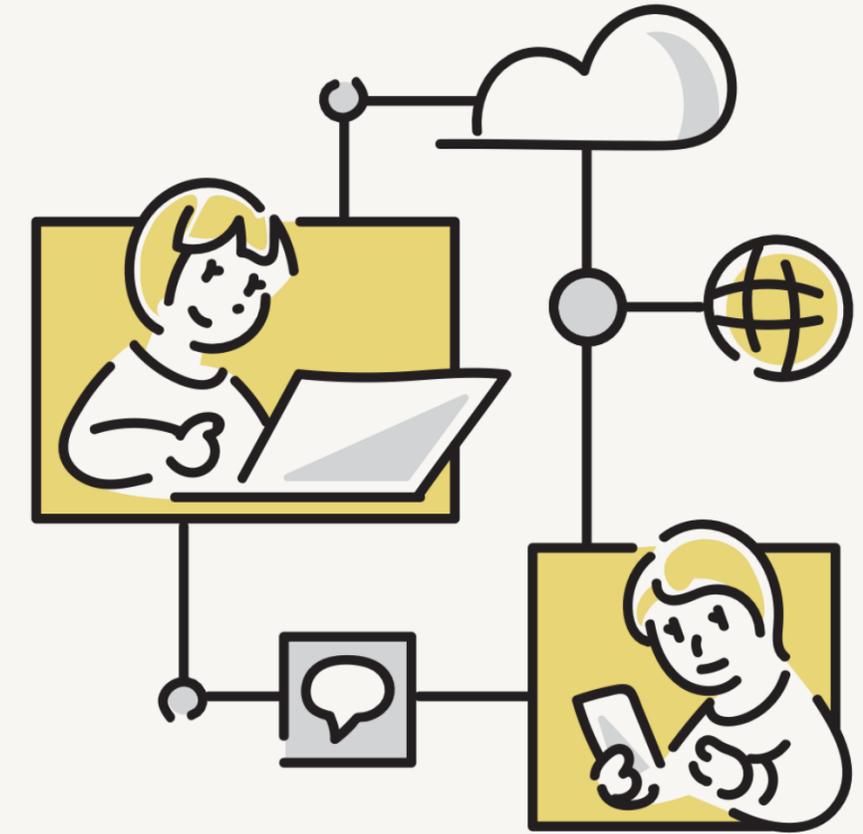
まずは、視察目的を踏まえた提案を各大学の方々にしてもらいます。

採択については、我々が決めるのではなく、今ご参加いただいている皆様に決めてもらいます！

来年度、採択された内容を若手NWにて実行していきます！！

**皆様乞うご期待！！**

それでは、プレゼンススタートです！！



## コアファシリティの縁側

～ゆるやかなつながりが力になる、  
新しい交流の場を創造しよう～

東北大学 研究推進・支援機構 コアファシリティ統括センター

坂園 聡美 (URA)

# 見えてきた課題

職種間でのコミュニケーション・相互理解が足りてない！

# 考えられる原因

お互いがどんなことに気を配って仕事をしているのか、日常的に話したり見聞きしたりする機会がないのでは？

# 解決するために何ができる？

負担感なく気軽に、  
が大切

日常的に自然と交流や仕事が見聞きできる場を作ってはどうか？

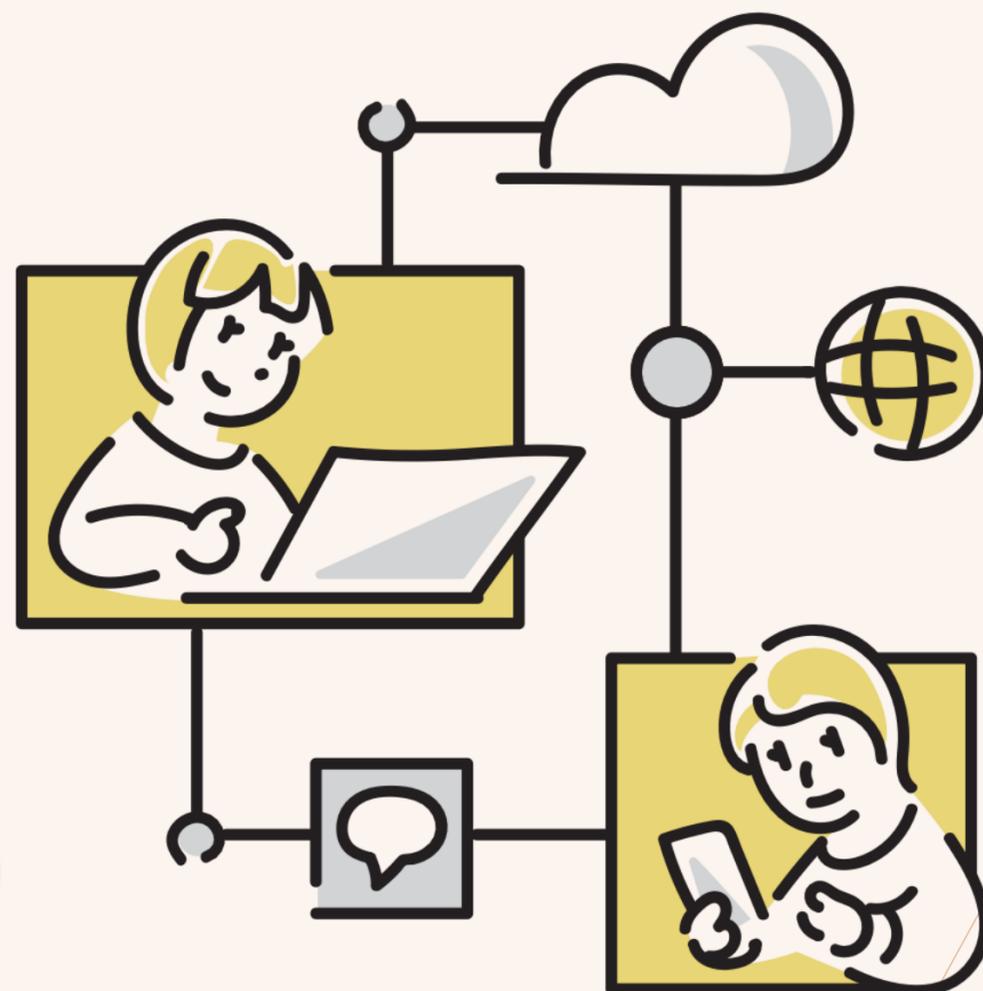
# コアファシリティの縁側

- **職種ごちゃまぜ**で参加する**オンラインスペース** (Slack? Discord? Teams? . . .)
- **日常的**な困りごとや気になることを気軽に**チャットしたり覗き見したり**できる

コミュニケーションを  
日常に組み込む

「職種や所属を  
背負わず気軽にコメ  
ント」を合言葉に

自分が知らない業務で何が  
話題になっているか知る場所に



動きが鈍いときは  
若手NWが話題提供や  
かき回し役に

参加者はお互い「さん」付けて  
呼び合う  
(相手がたとえ学長でも！)

“**職種や所属を意識しない、ゆるやかなつながり**”を目指す交流の場

若手ネットワークの現場訪問はぜひ続けていただきたい！

広島大学 学術・社会連携室 学術・社会連携支援部 研究支援グループ

大門直清

# 若手ネットワークの現場訪問はぜひ続けていただきたい！

広島大学 学術・社会連携室 学術・社会連携支援部 研究支援グループ 大門直清

## 【自己紹介】

○私は事務職員として、共用機器の運営に携わっている。機器の調達関係業務、利用料金の設定、利用料金の課金処理（大学連携研究設備ネットワークを利用）、関係の学内会議の運営、外部資金の関係業務（計画書や報告書の作成）、機器のよろず相談的な窓口の業務を行っている。

## 【若手ネットワークの現場訪問の良かった点】

○若手ネットワークの現場訪問において、自分の業務内容を紹介し、困っていることをフランクに話すことができ、訪問された若手ネットワークの方々に共感してもらった。困っているのは自分だけではないことがわかり、勇気づけられた。

○数時間のディスカッションの場を共有することで、「こんなことを聞いてもいいのか？」と思えるような内容でもわからないことを聞ける環境づくりができた。

## 【若手ネットワークの現場訪問への要望】

○知り合った方々と、ディスカッションした内容をもう1回深められるような仕掛けがあると良いです。

## 【結論】

○本学の共用機器の事務担当者は、学内でそんなに人数はいなく専門的な内容の業務であるが、他の大学の関係者とのコミュニケーションの潤滑剤となりうる、若手ネットワークの現場訪問をぜひ続けていただきたい！



「マンガで分かる！  
大学職員の日常」の  
SNS発信



熊本大学（事務職員） 黒江



# ✿✿✿ 提案の経緯・概要

Communicationの場  
の提供 = 相互理解を深めるツールの  
提供

大学（研究機関）に所属する  
多様な人々の仕事や思いを  
「マンガ」にして「SNS」で発信

技術職員の〇山さん



化学系の研究室で実験のサポートをしています。

1



先生、質問が…

先生！この装置なんですけど…

2



Oh, Sensei…

『先生』ちゃうよ！  
慕ってくれて嬉しいけど！

3

4 Q. どんなふうに呼ばいいですか？

「技術職員」で知らないの仕方ないか…  
ふうつうに「〇山さん」って呼んでほしいかな

気軽に頼ってね！

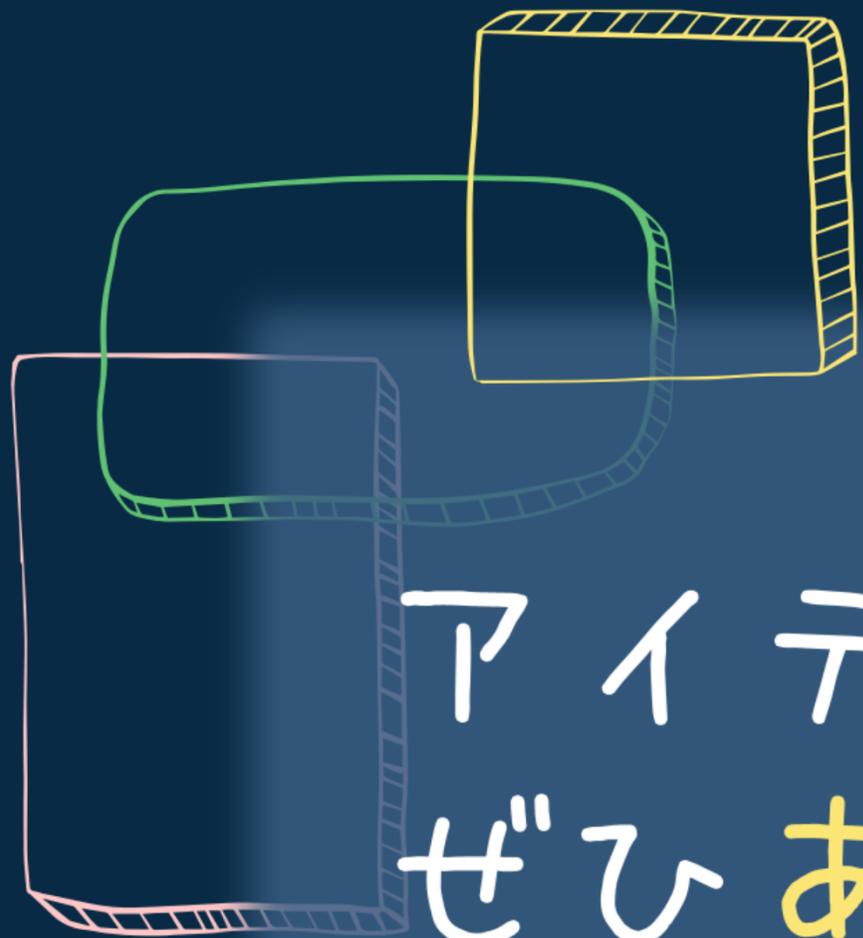
# 提案の押しポイント



★ 時間・場所を問わず

★ 職種・組織を超えて

★ 互いをリスペクトできるツールに



アイデアが採用されたときは  
ぜひあなたのエピソードも  
お寄せください！



# ワークステージ分析の活用 ～「俯瞰」と「全体フローの整理」の重要性～

2025(R7)年1月24日(金)

於 岡山大学 五十周年記念館 金光ホール

岡山大学 総合技術部

サイテック・コーディネーター

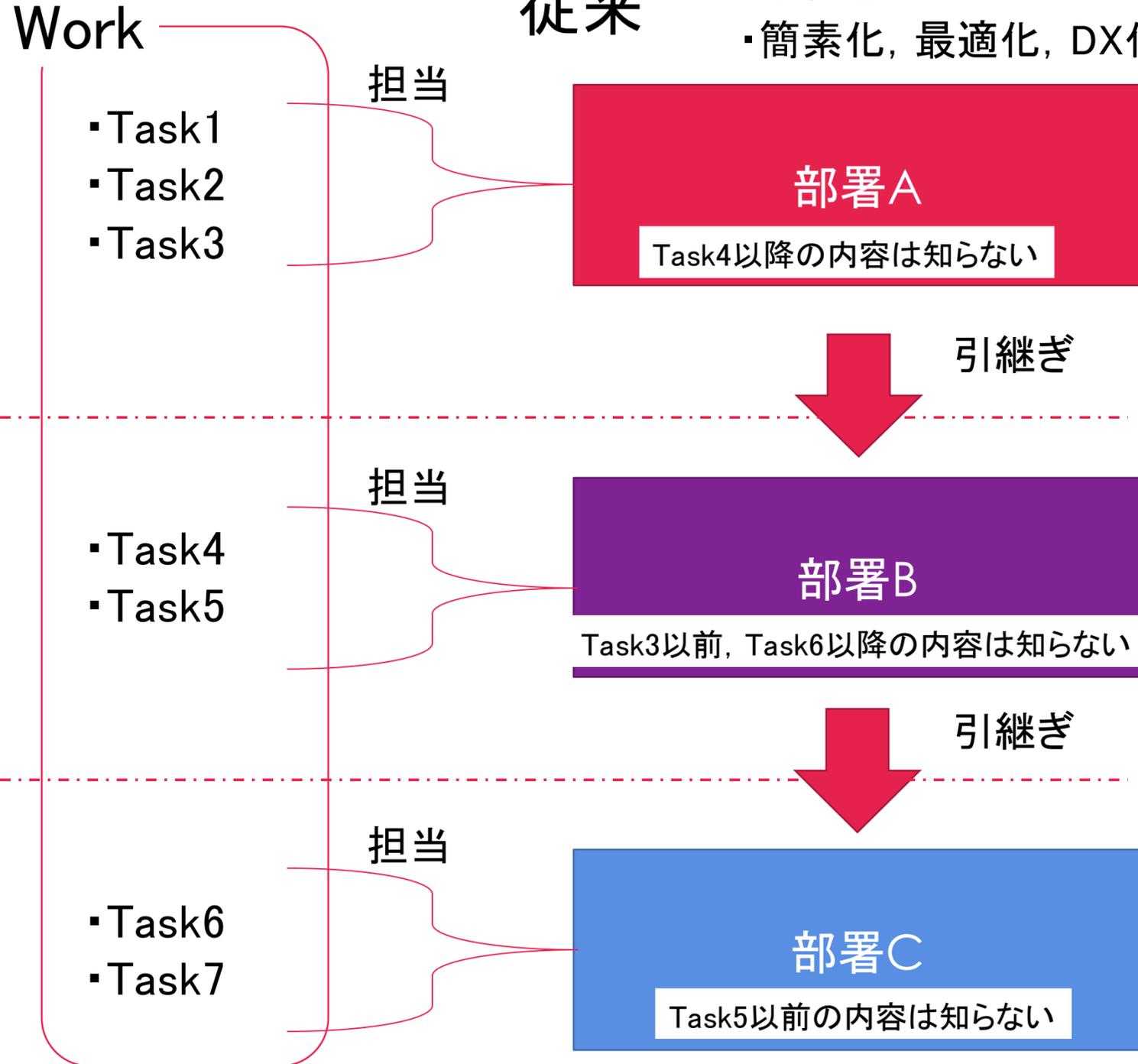
中野 知佑

# 複数部署に跨る業務 (Work)

各々の部署が

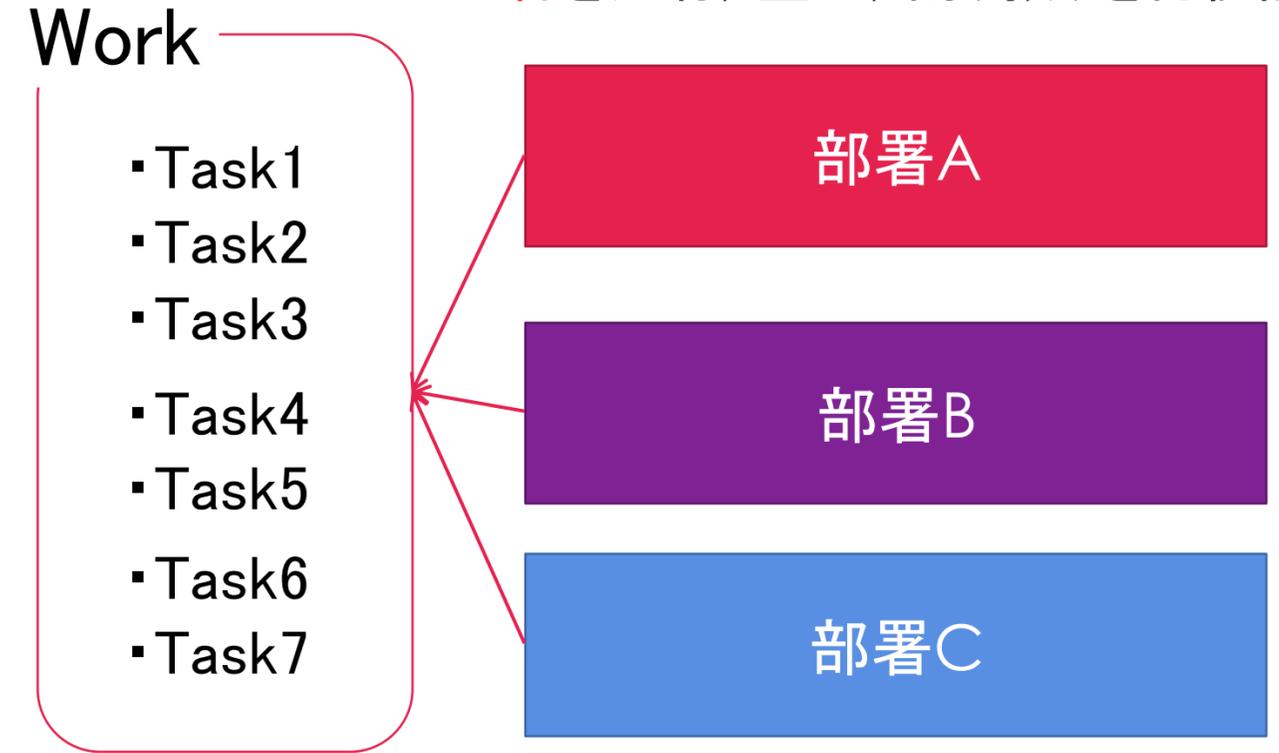
- ・業務を担当
- ・簡素化, 最適化, DX化を検討

## 従来



## 提案

Taskの内容を共有, 整理, 割り振りを再検討



関連部署メンバー(\*)が集まり,

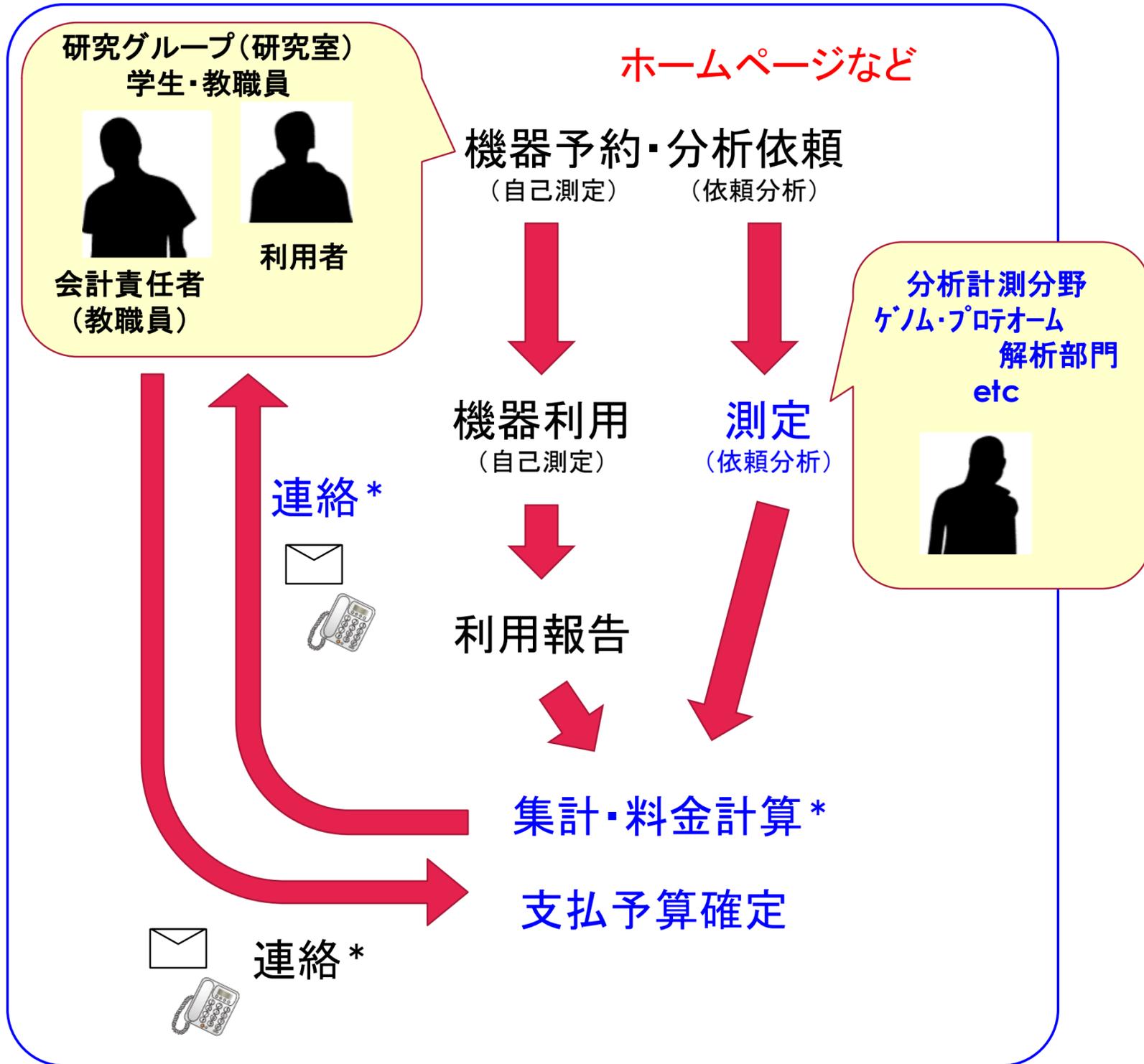
ノウハウを互いに共有して, 簡素化, 最適化, DX化の方法を詰める分析会(ワークステージ分析)を実施

- ・**全体**のTaskの内容を整理, 割り振りを再検討
  - 省略・削減・融合は可能か? (Yes/No)
  - なぜ必要なのか? 代替できるものは無いか?
  - Noでも, 何があればYesに持って行けるのか?
- “かつては必要だったが, 情勢が変化して今は不要”となっているものはないか?

( \* “実施担当”と“長”の同時出席が重要)

メリット; 重点的に改善点の洗い出しが可能  
 デメリット; “改善”が他部署にとって必ずしもプラスになるとは限らない

# 一例) 共用機器の利用・精算



業務の簡素化, 最適化, DX化が課題だった

### 精算用の予算決定の一例 ~メールやりとり~

宛先 p4ib5qix@okayama-u.ac.jp  
件名 【分析計測分野より】R4年度 第1四半期利用料金と支払予算の確認について

2022/07/06 11:32

自然生命科学研究支援センター  
中野 知佑 先生

平素は共同利用機器をご利用いただきありがとうございます。  
分析計測分野 飯田です。

令和4年4月~6月までの「共同利用機器利用料金」と「お支払い予算名」をご連絡いたしますので、ご確認ください。

変更のご希望がございましたら、本メール末尾の「支払予算変更連絡票」にご記入の上、  
令和4年7月11日(月)までに本メールに返信をお願いいたします。  
ご希望を承り、担当部局の会計にお伝えいたします。(お支払いに関する詳細につきましては、担当部局の会計とご相談ください。)

期限までに返信がなければ、このお知らせ内容のとおり請求させていただきますので、ご了承ください。(変更が無ければ、返信無用です。)

ご質問等ございましたら、担当 飯田(内線8748)まで、ご連絡ください。  
今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

記

1. 機器別の利用料金

装置名	予算	内訳	料金(円)
微細構造_SEM	運営費交付金	5.5	7700
EDX使用時は、1時間当たり500円追加			
微細構造_SEM 集計			7700
合計			7700(円)

2. 支払予算の利用料金

装置名	変更前予算	ご希望の予算
運営費交付金 集計		7700
合計		7700(円)

「支払予算変更連絡票」

装置名 ( ) 変更前予算 ( )  
↓  
ご希望の予算 ( )  
所管 ( )  
目的 ( )  
財源 ( )  
プロジェクトコード ( )

**支払予算の予算コードをメールで返信  
集計担当・会計担当に引継ぎ**

自然生命科学研究支援センター分析計測分野 飯田 雄司(内線) 8748 **問題点; 転記ミスなどが頻発**

# Web手続き(CFPOUシステム)を用いた精算手続き

メールのやりとり ⇒ **Web上でのプルダウン選択**

**CFPOUで支払い手続きを行ったもの; 予算コードの転記ミスはゼロに**

予算の保有者

ホーム / 利用履歴

予算の種類 予算名 残額

中野 知佑	寄附金支出(PJ) 寄附金(PJ)	円
中野 知佑	受託研究支出(PJ)10%留保 受託研究費(PJ) 受託2022	円
中野 知佑		
中野 知佑	ダミー ダミー	0円
中野 知佑		
中野 知佑	(運営費) 運営費交付金等	円
中野 知佑		
中野 知佑		

Click

GrowOne 財務会計

名称 / 数量	金額 / 単価
学内共同利 用	¥ 3,600 ¥ 600/その他(
6その他(試 料)	試料)

2021/10/22 ガスクロマトグラフ質量分析装置(高性能気液相導入質量分析装置) 中野知佑 学内共同利 用 ¥ 3,600 ¥ 600/その他( 6その他(試 料) 試料)

2021/10/22 ガスクロマトグラフ質量分析装置(高性能気液相導入質量分析装置) 中野知佑 学内共同利 用 ¥ 3,600 ¥ 600/その他( 6その他(試 料) 試料)

財務会計システム内の  
予算と残額が紐づ  
けられる  
↓  
プルダウンで  
支払予算を選択

CFPOUシステム;  
“伝票の作成”が可  
能な機能も搭載



(特に, 別の学部・学科, 学外などに幅広く公開している機器群)

### Central Research Laboratory, Okayama University Medical School

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/crl/>

**医学部  
共同実験室**  
鹿田/Shikata

### Okayama Univ. BioBank

<https://biobank.ccsv.okayama-u.ac.jp/>

**岡大  
バイオバンク**  
鹿田/Shikata

### Institute of Plant Science and Resources

<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/collaboration/collaboration10/>

**資源植物科学  
研究所**  
倉敷/Kurashiki

<https://www.misasa.okayama-u.ac.jp/jointuse/instruments.html>

**惑星物質  
研究所**  
三朝/Misasa

### Advanced Science Research Center

<https://dia.kikibun.okayama-u.ac.jp/equipments>

[http://www.okayama-u.ac.jp/user/grcweb/dgpweb/GRC\\_home-J.html](http://www.okayama-u.ac.jp/user/grcweb/dgpweb/GRC_home-J.html)



津島/Tsushima

**環境管理  
センター**  
津島/Tsushima

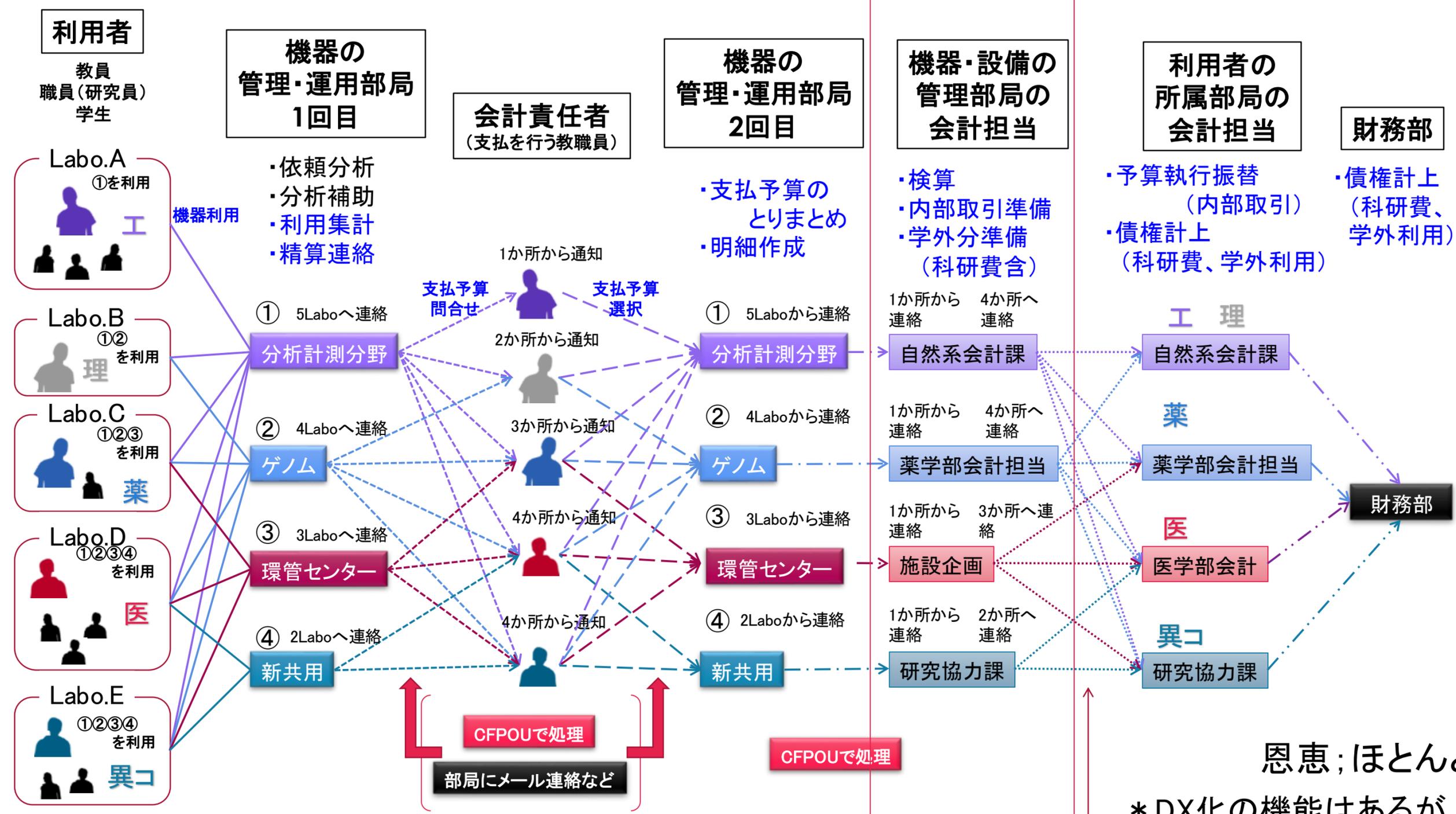
津島/Tsushima

**新共用事業  
(ナノユニット)**

<http://www.tt.vbl.okayama-u.ac.jp/kyouyou.html>

**少なくとも,  
300台以上の  
研究機器が共用化**  
( \* 学科内限定公開など,  
カウントされていない機  
器も多数)

# 共用機器の利用・精算フロー(大学全体を俯瞰)



CFPOUシステムの恩恵;大?

恩恵;小

恩恵;ほとんどなし

\* DX化の機能はあるが、  
 既存のフローでは活用できない状況

\* 行間の業務(把握されていなかったTask)への対応が困難

## プレ現状分析会議；（2023.10月頃）

参加部局		参加者
研究イノベーション統括本部 研究協力課	大学本部	総括主査, 主査クラス
財務部 財務企画課	財務	総括主査, 主査クラス
自然生命科学研究支援センター 分析計測分野, ゲノムプロテオーム解析部門	機器運用部局	実務担当
自然系会計課, 薬学部会計担当	部局会計	総括主査, 主査クラス

（方針決定）  
将来的にCFPOUシステムを前提とした業務フローを導入する

## 現状分析会議； 3回（2024.4-5月 2週間程度で短期集中開催）

参加部局		参加者
研究イノベーション共創機構 機器共用推進本部	大学本部	総括主査, 主査クラス
研究イノベーション統括本部 研究協力課	大学本部	実務担当
財務部 財務企画課	財務	総括主査, 主査クラス
自然生命科学研究支援センター 分析計測分野	機器運用部局	主任教員クラス 実務担当

- ・把握されていなかったTaskを整理
- ・課題を整理

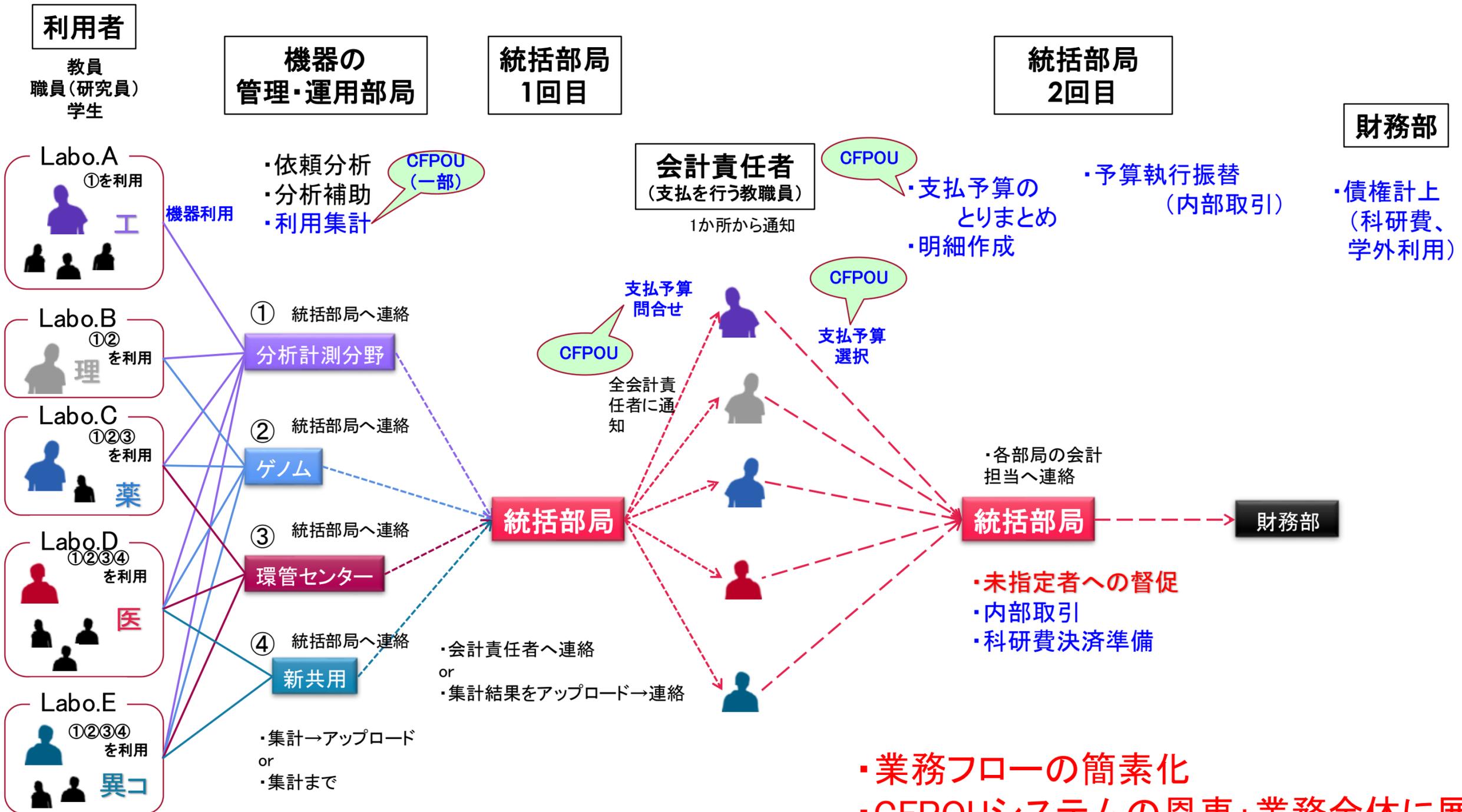
\* CFPOUシステムを新たなインフラとし, これの機能を前提とした業務フローに見直し(新構築)決定

実務担当4名で, 最終的な新業務フローを策定

# 共用機器の利用・新精算フロー(大学全体を俯瞰)

～ 2024(R6)年度から～

取引ルートを整理・単純化



- ・業務フローの簡素化
- ・CFPOUシステムの恩恵;業務全体に展開
- 新業務フローのPDCAを実施中  
(必要に応じ, 新たなワークステージ分析を実施)

**統括部局**

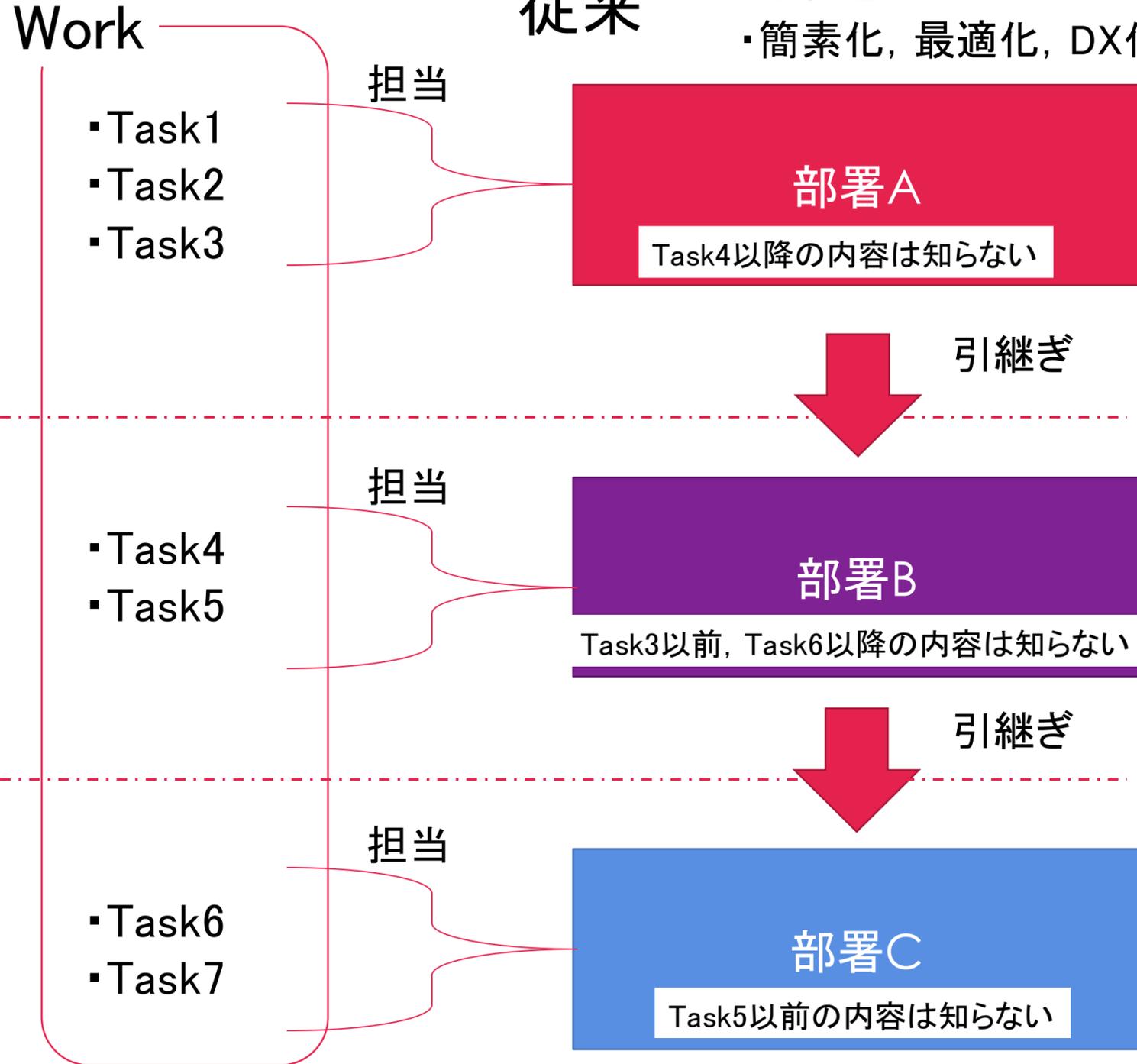
- ・ 研究・イノベーション共創機構 機器共用推進本部
- ・ 総合技術部(移行中)

# 複数部署に跨る業務 (Work)

各々の部署が

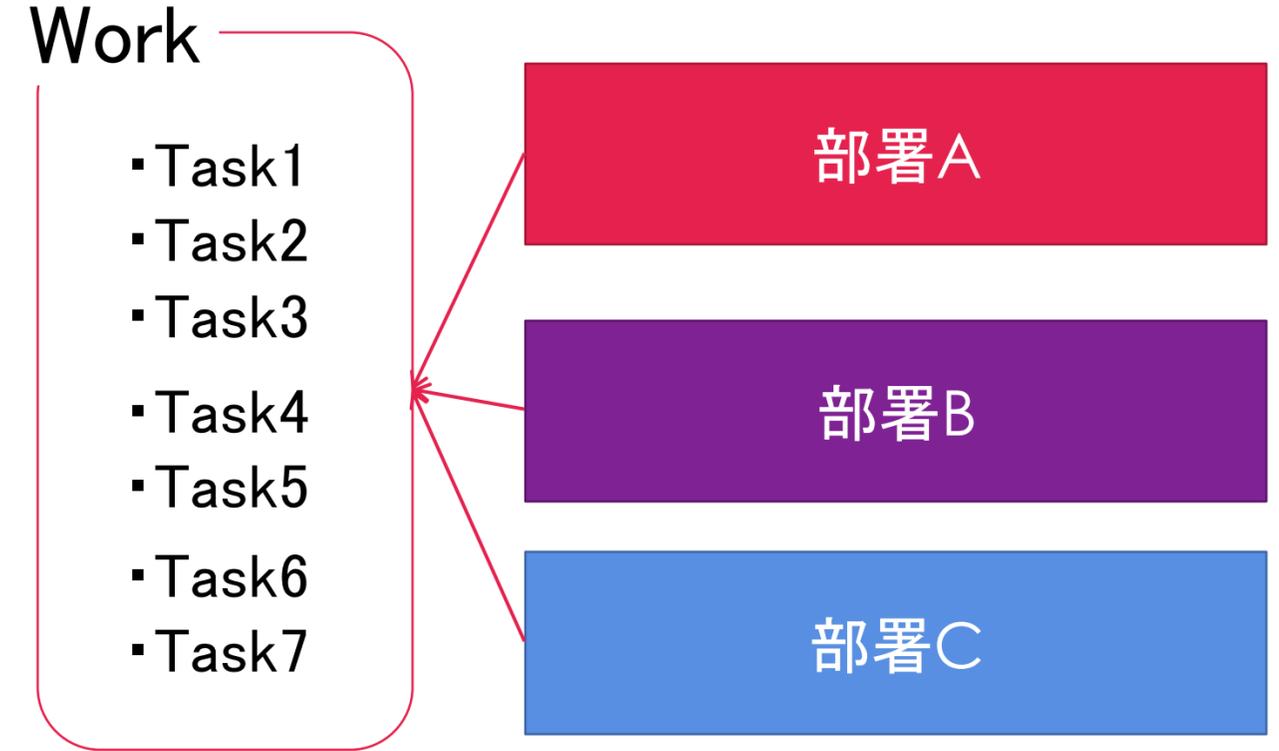
- ・業務を担当
- ・簡素化, 最適化, DX化を検討

## 従来



## 提案

Taskの内容を共有, 整理, 割り振りを再検討



関連部署メンバー(\*)が集まり,

ノウハウを互いに共有して, 簡素化, 最適化, DX化の方法を詰める分析会(ミーティング)を実施(ワークステージ分析)

- ・全体Taskの内容を整理, 割り振りを再検討
  - 省略・削減・融合は可能か? (Yes/No)
  - なぜ必要なのか? 代替できるものは無いか?
  - Noでも, 何があればYesに持って行けるのか?
- “かつては必要だったが, 情勢が変化して今は不要”となっているものはないか?

(\* “実施担当”と“長”の同時出席が重要)

メリット; 重点的に改善点の洗い出しが可能  
 デメリット; “改善”が他部署にとって必ずしもプラスになるとは限らない

# 互いの解像度を上げる！

## 顔が見える繋がり作り

---

大阪大学コアファシリティ機構 技術専門職員 江口 奈緒

若手ネットワークのこれまでの現地視察

設備・機器共用に直接関わる人材＋若手ネットワークで施設見学＆意見交換

⇒ 視察先大学内の興味のある人を広く巻き込む形にアップデート  
職種を超えて助け合える、顔の見える繋がりを大学の中に作る

### 施設見学

百聞は一見にしかず！  
研究設備と管理する人の仕事を  
実際に見て知る場

+

### 交流会

自分の業務のこと、相手の業務のこと  
こんなこと困ったら誰に聞けばいい？  
何でも話せる場

見て・聞いて・話してお互いの解像度を上げる

職種を超えた研究支援体制 **“ONE TEAM”** の土壌を大学の中に作る

こういうニーズが多くて  
新しい利用の仕組みを  
作りたいんだけど・・・

こういう研究をしたい先生が  
いるんだけど紹介できるかな？

資産に関する調査が来ていて・・・

仕様書にあるこの機能って  
実際どんな時に使うの？

料金設定ってどういう基準で  
作ってるの？

技術職員

URA

事務職員

関わりがなかった人材同士が互いの業務の経験をもとに意見交換

若手ネットワーク



東北大学  
坂園

コアファシリティの縁側

広島大学  
大門

若手ネットワークの現場訪問

熊本大学  
黒江

「マンガで分かる！大学職員の日常」のSNS発信

岡山大学  
中野

ワークステージ分析の活用

大阪大学  
江口

互いの解像度を上げる！顔が見える繋がり作り